

自由民主党 東大和市議会議員

森田ひろゆき

誠実に前へ。
まちと人と未来をつなぐ。活動レポート
Vol.11

令和8年10月発行 森田ひろゆき後援会



議員としての役割

「市民からお預かりした税金を、より大きな価値に変える」ことが、議員としての私の役割のひとつだと考えています。

限られた財源の中では、すべての要望に応えることはできません。だからこそ、今を生きる市民の暮らしを守ると同時に、未来の市民に何を残すのかという視点が必要です。

地域には、自治会、学校、スポーツ、文化、祭礼など、人と人をつなぐ多くの力があります。現場に足を運び、皆さまの声を聞き、その思いを議会での質問や提案につなげてまいります。

行政と市民、現在と未来をつなぎ、「大きく和する東大和」を目指して、これからも誠実に前へ進んでまいります。

東大和市議会議員 森田博之

令和7年度決算を審査

令和7年度決算では、市民からお預かりした税金が、暮らしの向上にどのような成果をもたらしたのかを審査しました。

子ども家庭センターでは新規相談261件、相談・支援は延べ1万9,455件、未就学児の定期預かり事業は227日実施し、延べ1,383人が利用しました。また、利用の多い行政手続のオンライン化を進め、総合防災訓練には約1,200人が参加しました。

一方、事業を実施するだけでなく、市民の利便性や安心が実際にどれだけ高まったのかを検証することが重要です。決算で見えた成果と課題を次の施策と予算に反映し、限られた財源をより大きな市民サービスへとつなげてまいります。

令和7年度決算の詳細はこちら →



東大和市の主な動き

老朽化する公共施設の集約・複合化に向け、市では、市民説明会などを通じて意見を伺いながら、公共施設再配置計画の策定を進めています。

公共施設再編課(内線1481)
042-563-2111

地震による電気火災を防ぐ感震ブレーカーの購入・設置費の4分の3を補助。申請は12月28日まで。予算額に達し次第終了。

防災安全課(内線1352)
042-563-2111

子どもの季節性インフルエンザへの罹患防止と子育て世帯への経済的負担の軽減を目的として、任意で接種する際の費用の一部を助成しています。

子ども家庭センター
042-565-5212

保育所などで子どもが体調を崩し、保護者が迎えに行けない場合、保育士が代わりに迎え、受診後に病児・病後児保育室で預かります。

保育課(内線1751)
042-563-2111

ちょこバスの令和7年度の利用者は17万8,779人で、前年度より4.2%増加しました。地域の身近な移動手段として利用が伸びています。

都市基盤課(内線1256)
042-563-2111

令和8年6月定例会 一般質問

猛暑から子どもを守る取組と
職員が誇りを持てる市役所づくり



問 猛暑時における学校での熱中症対策を伺う。

答 暑さ指数を計測し31以上は原則屋外活動を中止している。児童・生徒の状況に応じ活動内容等を変更するなど柔軟に対応している。

問 暑い時に子どもが避難できる居場所の周知について伺う。

答 クーリングシェルターにのぼり旗を掲出し、**市公式LINEで周辺施設の検索が可能。通学路周辺での増設も検討する。**

要望 通学環境や居場所づくりも含め、**地域資源を活用した暑さ対策の推進を要望する。**

問 新たな人材マネジメント基本方針の特徴について伺う。

答 人材育成に加え、人材確保、職場環境整備、適正な配置と処遇を一体で進めることとしている。

問 職員アンケートの課題を伺う。

答 職員間の信頼関係は良好で働きやすい一方、キャリア形成の見通しが不透明な点が他者への推奨度低下の要因。

要望 職員が誇りを持って働ける環境づくりと生成AI等による負担軽減を進め、市民サービス向上につなげることを要望する。

公共交通政策と整合する基準の見直しを要望する。

問 地域資源をどう生かし、市民がスポーツに親しめる環境をつくるのか伺う。

答 多摩湖や狭山丘陵、民間施設やスポーツチーム等と連携し、健康、観光、地域経済につながる取組を進める。

要望 公共施設再編後も活動の場を確保し、誰もがスポーツに関われるまちづくりを要望する。

直近の主な地域活動



左上 同僚の木下議員と清瀬市立元町こども図書館を視察。右上 清水自治会の皆さんと学校給食センター等を視察。左中 地域の皆さんと手話を学ぶ。右中 清水神社例大祭で司会進行を担当。左下 東京ワイルズのアイスホッケー体験会。右下 東大和S&D体育館での空手稽古(会員募集中!)

令和8年9月定例会 一般質問

集中豪雨と開発事業基準、
スポーツでまちに活力を



問 雨水幹線は今回の大雨でどう機能したか。冠水リスクが残る地域への対策を伺う。

答 台風第6号の大雨で、**雨水幹線に約1,000立方メートルを貯留し、浸水被害の軽減には一定の効果があつた。地域の対策を検討する。**

要望 雨水幹線の効果を検証し、**地域に応じた設備の整備と大雨時の具体的な情報発信を要望する。**

問 駐車場基準などは、社会情勢や地域特性、今後のまちづくりに合うのか伺う。

答 市内の実態を把握し、近隣市も参考に、駐車場以外の項目を含めて検証する必要がある。

要望 住環境を守りながら、**駅周辺のまちづくりや**

プロフィール(森田博之)

昭和45年3月生まれ 戊午 牡羊座
家族:妻・長女・長男・母
東大和市一小、一中、武蔵村山高校
明星大学理工学部卒業
保険代理業に25年間携わる。2級FP技能士
平成31年4月市議会議員に初当選、空手道愛好会会長
東大和市アイスホッケー連盟相談役、元東大和一小PTA会長
東大和青年会議所第22代理事長、元東大和市消防団員



← ホームページはこちら
moritahiroyuki.jp

LINE友だち登録はこちら→
よろしくお願いいたします。



森田ひろゆき後援会

〒207-0004 東大和市清水2-827-1-101
電話:050-3552-8443 FAX:050-3457-4548
E-mail:morita@moritahiroyuki.jp